特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク

総 会 議 案 書

約 3 年ぶりに会場開催が復活した昨年の通常総会

2024 年 通常総会

[第 19 期（NPO 法人化以降）：2023 年 6 月 1 日 ～ 2024 年 5 月 31 日]

2024 年 7 月 28 日（日）13:30 ～

オンライン（Zoom） ／ 文京シビックホール会議室 1

1 号議案　2023 年度活動報告

創立 20 周年を迎えた昨年、これからの団体の方向性を示す PV-Net Vision 2030 を策定。本ビジョンに沿った取り組みを展開してきました。そして近い将来の代表交代を視野に組織体制を、都筑 建、高柳良大の 2 名による共同代表制へと移行しました。新たな PV-Net 像を作り上げていくための 1 年目となりました。

PV-Net VISION 2030

プロシューマ（電力の生産消費者）が主役となる太陽光発電システムの普及拡大

- 設置者の目線・経験に基づいた太陽光発電に関する情報発信
- 設置から廃棄までを適切に行える仕組みづくり

わたしたち太陽光発電オーナー・プロシューマの立場や目線、経験をもとに、太陽光発電の未設置者や設置検討者に対して正確な情報の発信を行うほか、導入から廃棄・リサイクルに至るまでの太陽光発電における一生涯のサポートを行うことで、太陽光発電を安心して設置できる社会の実現を追求します。

地域循環共生型コミュニティの構築・強化

地域交流会を中心とした各地域のネットワーク・コミュニティの構築・強化を行うことで、地域に合った再エネ導入や市民主体による共同発電の普及・促進を目指します。さらに地域から、脱炭素社会の実現に向けた次世代のリーダを発掘・育成します。

カーボンニュートラルに向けた社会の変革

全国の気候危機に立ち向かう市民や団体とも協力し、自治体との連携や再エネ拡大の障壁となっている課題解決などに向け、政策提言などを行っていきます。こうした取り組みを継続することで、市民や政治の意識を変え、社会を変革していきます。

1.　「食とくらしの『グリーンライフ・ポイント』推進事業」の推進

22 年度に採択された環境省「食とくらしの『グリーンライフ・ポイント』推進事業（GLP 事業）」は、補助事業終了後も 3 年間（25 年度まで）の事業の継続が求められています。PV-Net は本事業を通じて、**ソーラー・蓄電池の導入支援や再エネ新電力への切り替え、パネルのリユース・リサイクルを推進**しており、これらの環境配慮行動を人々に選択させるための動機づけとして Amazon 等で使用できるポイントの付与を行っています。

23 年度の目標としては、太陽光発電を含む設備導入 100 件、再エネ新電力の切り替え 50 件を掲げましたが、当初に計画していた自治体との連携による集客・広報が実現できなかったなどの理由もあり、**大幅に目標を下回る結果となりました。**

SDGs の 17 番目の目標に「パートナーシップ」が掲げられている通り、社会課題に対しては、行政や企業・団体が個別で取り組むだけでは解決が困難なことは明白です。こうした連携が不可欠な一方で、パートナーシップは自社によるコン

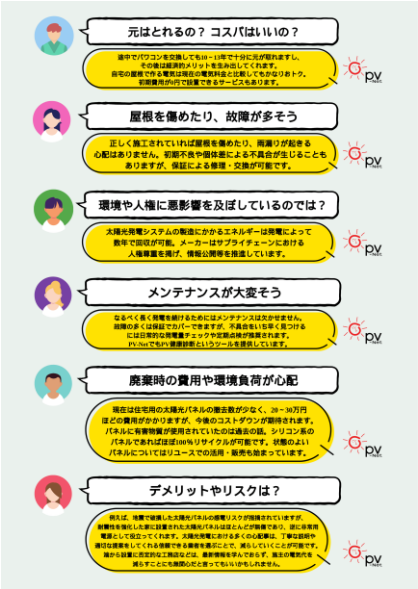
トロールが難しい面も多く、今回のように期待された結果・成果が得られないことも起きうることから、外部に頼りすぎない体制・仕組みについても再考していきます。

テーマ	学習会参加者	太陽光発電	蓄電池	V2H システム	再エネ新電力切り替え	リユースリサイクル
実績	121 名	3 件	6 件	3 件	0 件	1 件

2. プロシューマ団体としての正確な情報発信

太陽光発電・気候変動に関する正しい情報発信を目的に、毎月の重要なニュース・記事をピックアップして会員向けメールとして配信を始めました。まだまだ改善点も多く見られることから、より読んでみたいと思っていただけるような内容へとブラッシュアップしていきます。

毎年出展している再生可能エネルギー世界展示会では、太陽光発電に関する Q&A ポスターを制作しました。来場者が抱える太陽光発電についての疑問や不安をきっかけに、私たちの取り組みや理念についても案内することができました。



展示会で掲出したポスター

3. 地域活動の活性化

コロナ禍の影響が落ち着きを見せたことで、地域交流会活動の再開を期待していましたが、一度停滞したつながりをもとに戻すことは簡単ではなく、多くの地域で活動に苦慮する姿が見られました。近年の地域交流会活動は各地域の自主性を活かしてきましたが、地域活動の再構築には、地域との共同イベントやキャンペーン等の実施、インセンティブの付与といった**地域の連帯感やモチベーションを高める仕掛けが必要**と考えます。

4. 新たな PV リユース・リサイクルの仕組みづくり

屋根の防水工事に伴う会員からの太陽光パネル撤去相談に対して、**パネルリサイクルを行う施設への持ち込みが可能な撤去事業者を紹介。パネルの適正処分を実現しました。**一方でパネルリサイクルを行うためには、撤去を行う排出事業者が 1 枚あたり 3～4,000 円のコストを負担する必要があり、撤去費用への価格転嫁もしづらいため進んでいないのが現状です。最終処理の責任を排出事業者が負っている以上、PV-Net としても適正処理に賛同してくれる事業者を増やしていく必要があります。当然、まだ使用できるパネルについてはリユースが優先されるべきですが、新品パネルの価格が下落するなかで、需要の創出が課題となっています。

5. PV 健康診断システムのリニューアル

PV 健康診断のリニューアル作業を進めてきましたが、仕様やバグの修正が思うように進まず、**23 年度中のオープンは叶いませんでした。**現在は 24 年中のオープンに向けて作業を進めております。リニューアル後もこれまでの機能は変わら

ず使えるほか、従来よりも更新・改変がしやすい設計となっていることから、リリース後には皆さまからの改善要望についても受け付けたいと考えています。

6.　再エネ利用の拡大に向けた取り組み

GLP 事業の取り組みの 1 つである再エネ新電力への切り替えは、卒 FIT 電気の買取先の相談・紹介対応などの事例はあったものの、**ポイントを活用した切り替えキャンペーンを展開することができませんでした。**

東京都が展開する「地産地消型再エネ・蓄エネ設備導入促進事業（都外設置）」では、都外に建設する再エネ発電所の環境価値を同じ事業者の都内事業所で利用することを条件に、設備建設費用の一部助成を行っています。昨年度は 3 社に対して、グリーン電力証書による環境価値の移転サポートを行いました。PV-Net の強みを活かして再エネの拡大を進めることができました。

「地産地消型再エネ・蓄エネ設備導入促進事業（都外設置）」の仕組み

7.　気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす

脱炭素化と持続可能な地域社会の実現のためには再エネの拡大は不可避ですが、近年は太陽光発電が迷惑施設化するケースも目立つようになっています。PV-Net にも**住民と事業者のトラブルや、発注者・受注者間の紛争相談が寄せられており、23 年度もアドバイスや現地調査を行ってきました。**太陽光発電は本来、地域や国民に大きな便益をもたらしてくれるものだったはず。その“あるべき姿”を取り戻すためにも、1 つひとつトラブルに対処しています。

8.　ルールチェンジ、システムチェンジに向けた働きかけ

東京都議会に対して、「地球温暖化対策を加速することを求める意見書の提出に関する陳情」を 137 名の署名と併せて提出しました（令和 6 年第 2 回定例会）。これは、第 7 次エネルギー基本計画の策定に向けて、COP28 での世界的な合意内容を含めるよう、都から国に要望することを求めるものです。**結果は多数会派の賛成が得られずに否決されましたが、各会派の温暖化対策への姿勢を可視化することにはつながりました。**太陽光発電の設置義務化を先導する東京都であっても、国のエネルギー政策に対してはどこか他人事であり、これまでとは異なったアプローチの必要性も感じています。

9.　電気自動車（EV）向け充電ステーション拡大支援

EV 充電サービスを展開するユビ電（株）への技術支援を行いました。同社では、全人口の 4 割を占める集合住宅居住者が、自宅での充電ができないために EV 導入に踏み切れていないという点に着目。マンションの駐車区画すべてへの充電コンセント設置を推進しています。こうした**充電インフラの拡充には、安価で利便性の高いサービスが必要であり、その実現のため日々取り組まれている研究・技術開発の一端を PV-Net も担っています。**

地域交流会活動報告

日常を取り戻した 2023 年でしたが、これからのイベントやコミュニケーションが以前のようなリアルだけに回帰することはないでしょう。リアルとオンライン、それぞれの良さを組み合わせた地域交流会活動の最適解を模索し続けています。

東北 6 県地域交流会

「広い東北 6 県がつながるにはオンラインも活用する」と目標を掲げたが、東北 6 県の会員各位とつながりをつくることができていない。その一方で、太陽光発電所に関するユニークな取り組みをしている人や企業と、情報交換だけでなく、独自の取り組みで連携を確認した。

No.	2023 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月			
1	複数問題を一気に解決する運動を起こす	さまざまな問題に 1 つひとつ取り組む代わりに、それらの問題の根っこにある根本的な原因を明るみに出して、グローバル・システムへの依存から抜け出し、地域の相互依存を再構築するために、協力し合う	運動の参加人数	通年				3 組	○	宮城県に遊休地利用独立電源に取り組む人、岩手県北上市にハイブリッドインバータシステムに取り組む人、「コミュニティパワーいわて」が始動
2	会員が求める情報を把握して提供すること	関心事を把握して、関心事 1 つに最低でも、1 人の講師または 1 つの資料を探す	1 つ以上	情報提供／相談受付				準備中	△	太陽光発電の仕組みを紹介する拠点を、岩手県一関市千厩町「千厩ホンダ・ショールーム」に準備中
3	PV-Net 発プロジェクトの横展開	各プロジェクトやイベントなどの関心度の把握	参加人数と関心度	通年				未実施	×	会員各位とのつながりをつくるには至らなかった
4	・各県の会員を知る ・活動全体を通じて新規会員の獲得声がけ	自立した会員が、相互依存する関係を目指す	主体的な参加人数	青森 山形	宮城 福島	秋田 岩手	フォロー	0 名	×	理事 2 人体制（岩手・山形）に加え、各県の交流会世話人も決められなかった

群馬地域交流会

新型コロナウイルス感染症の後遺症により途切れてしまった世話人会の絆を取り戻すべく、「世話人会の再開」の 1 点に絞り活動の再開を目指しましたが実施には至りませんでした。

No.	2023 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月			
1	世話人会の開催	・地域の結束強化 ・地域活動の活性化	2 回／年	通年				未実施	×	

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上） ○：目標を達成（達成率 100%以上） △：目標未達（達成に向け改善可） ▲：目標未達（改善不可） ×：実施されず

埼玉地域交流会

2023 年度は環境イベントへの出展、会員向けの行事のフォーラムなど、コロナ前と同様に開催することができました。イベント出展では、大人や子どもたちがエネルギーを生み出す体験を通して、省エネや再エネの重要性を感じてもらうことができました。

No.	2023 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月			
1	埼玉地域フォーラム	電気代が高騰した今、PV は自家消費の時代。会員向けの蓄電池・V2H の情報交換と共有の場づくり	年 1 回開催					1 回 5 月 25 日	○	会員向けの有意義な情報発信を目指す
2	見学会	太陽光発電などを含めた再エネ施設や活用施設の見学を通しての情報共有	年 1 回以上					0 回	×	有意義な見学会開催を目指す
3	独立型 PV 組立講座ワークショップ	ポータブル PV の普及	年数ヵ所	年数ヵ所を予定				1 回 2 月 23 日	△	1 回だけの開催となったが、次年度は複数回を目指す
4	自治体などのイベント参加	県・市町村・環境団体主催のイベント参加による PV-Net 活動の周知、会員拡大	5 イベントに参加	通年				イベント 4 回 住宅展示場 4 ヵ所	○	坂戸市・いずみ DAY 2023（6 月）／熊谷市・ニャオざねまつり（10 月）／上尾市・SAITAMA 環境フェア&こどもエコフェス（11 月）／川口市・エネルギーで遊ぼう学ぼう（3 月）／浦和＆川口市の住宅展示場（7 月・4 ヵ所）
5	児童・園児・父母対象の環境学習の開催＆PV 講演会の開催	・自然エネルギー普及啓発 ・将来への投資 ・PV 普及を目的にした講演会開催	県内・外数ヵ所	随時				2 件	○	熊谷市・ほしのみや幼稚園（7 月） 加須市・PV+独立系講演会（2 月）
6	・市民発電所の維持管理 ・スイッチング推進 ・発電量の計測および健康診断による発電量チェック ・新規発電所の設置	・PV 設備のメンテナンス ・パワーシフトの推進 ・PV の普及・啓発	新設 1 カ所	随時				新設 0 件	△	譲渡済みの 3 件の発電所の健康診断継続 以前のような補助金＋寄付金での設置は難しくなってきている。その他の方法の検討が必要
7	世話人会の開催	地域交流会の運営（対面と Zoom で開催）	定例開催（第 2 土曜）	通年				12 回	○	リアル開催：7 回 Zoom 開催：5 回
8	NEWS（さいたま通信）刊行継続とホームページの運用	・発電量の近隣比較の広報と PV 健康診断への入力促進 ・卒 FIT 体験、PV 撤去にまつわる話、トラブル事例など会員に役立つ情報の発信 ・バルコニーPV などの最新技術情報の発信 ・イベントなどを地域会員に知らせ、参加につなげる	2ヵ月毎	通年				7 回発行	○	東電 EP の『インボイス登録関連』のはがき対応と本部からの蓄電池設置、卒 FIT 売電価格について（7 月） 【調査報告】電気料金の比較（8 月） 埼玉県「令和 5 年度企業等における省エネ再エネ活用設備導入補助金」の説明を発信（9 月） さいたま通信各号を埼玉 HP へアップし、Facebook のアカウントにアップ時に告知。さいたま通信の配布は、メールを基本としているが、メールの受信ができない会員向けには短縮版を郵送
9	PV の不具合対応＆相談対応	・太陽光発電の健全な普及 ・発電量の確保 ・PV-Net の存在価値向上	対応率 100%	通年				不具合対応 2 件 相談会 5 回（うち住宅展示場が 4 回）	○	柏市 N さん、大塚 M さん PV 相談は、イベント展示や講演会時に適宜対応した

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

千葉地域交流会

新型コロナウイルスの影響は収まったが、リアル世話人会開催には至らなかった。Zoom 世話人会の参加者も少なくなってきたことから、2023 年後半から始めた千葉会員も含めた情報交換会として開催を継続して行った。太陽光発電量分析委託事業は 23 年度で終了となった。リネットちばへの参加は継続できている。イベント出展はリアルがなくなり、エコメッセちばのオンライン出展（動画配信）となった。セミナー開催はできなかったが、パネルリサイクル工場の見学会を開催した。

No.	2023 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月			
1	世話人会の開催 情報交換会開催	・情報交換／共有 ・Zoom 会議の導入	12 回／年 開催	通年				12 回	△	情報共有、意見交換 会員の相談対応ができた
2	自然エネルギーを広めるネットワークちば定例会	・定例会へ参加 ・情報交換／共有 ・他団体との連携	12 回参加 イベント共催	通年				11 回	○	情報共有、意見交換ができた
3	市民エネルギーちば株式会社から業務委託	・ソーラーシェアリング発電所の発電量分析／報告 ・知見を得る	20 発電所 分析	通年				20 設備	◎	委託料収入が地域収入の安定化につながっている
4	イベント出展	・エコメッセちばオンライン出展（動画配信）	1 回／年 出展		10 月			1 回	△	エコメッセちばオンライン出展
5	セミナー開催	・卒 FIT 実践事例紹介 ・再エネ／省エネ全般 ・気候変動	2 回開催	通年				1 回	△	セミナー開催はできなかったが PV パネルリサイクル工場見学を開催した

東京地域交流会

世話人 2 名が事務局に関わっていることもあり、地域交流会としての企画や活動はほとんどできず。

No.	2023 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施内容				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6～8 月	9～11 月	12～2 月	3～5 月			
1	温暖化啓発 ・自治体、生協、NPO などで学習会 ・GLP 協力呼びかけ	自治体など » 関心高い人イベントなど »「ふつうの市民」 ★講師体制、育成	オンライン:1000 人 会場:300 人	・武蔵野、三鷹、小平の環境イベントに出展し、温暖化・ソーラー＆蓄電池学習会チラシ配布 ・杉並区で卒 FIT、ソーラー入門講座、小中環境授 ・自治体向けのアプローチできず				Zoom 申込 234、うち出席 120？（全国）	△	Facebook 広告のみで広報ルート開拓できず。パルシステム神奈川の協力はあり
2	住宅ソーラー普及	家庭で最大の脱炭素対策であるソーラー設置を拡大する	10 人	・ソーラー＆蓄電池入門…オンラインで募集・実施 ・自治体への協力依頼 » アプローチできず				都内ソーラー＆蓄電池 4 件／蓄電池のみ 2 件	△	こちらも引き続き広報ルート拡大が課題
3	再エネ電気普及	・再エネ電気への買電切替 ・非 FIT 電気売電切替	50 件	事業キックオフ後、PR。温暖化学習会、ソーラー＆蓄電池入門等の中で紹介				0	×	再エネ電気を PR する説明ツールが必要
4	SDGs 関連市民団体の連携プラットフォームづくり	・各団体の企画共有 ・コラボ企画による集客拡大	10 団体 ×2 エリア	三鷹、武蔵野ともほとんど前進なし				—	△	何を共通課題、共通行動とするか。
5	政策提言	地域・国の温暖化対策を自治体に提言	市民提言 » 市議選 10 地域	昨年 4 月地方選対応（議員別陳情賛否公表）は PV-Net の外で実施。以降、市議会提言はなし。6 月都議会向け陳情は賛否結果の事実のみ公表				—	○	地域で「グリーンな市民」拡大、緩やかに組織。市議との面談も試行？
6	イベント出展	コロナが終息すればリアルイベントに参加。参加可能なオンラインイベントについても調査	検討中	武蔵野、三鷹、小平、代々木公園（ワタシのミライ、アースデイ東京）の環境イベントに出展				学習会チラシ 200 枚？	△	自転車発電をやると保護者にチラシ渡しやすい

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上） ○：目標を達成（達成率 100%以上） △：目標未達（達成に向け改善可） ▲：目標未達（改善不可） ×：実施されず

神奈川地域交流会

以下の活動を実施した。

・フォーラム PV かながわ 2024 の開催
・ニュースレター「PV かながわ」を毎月発行しメールにて配信。2024 年 5 月で 108 号を発行
・ワークショップ「出前発電所を作ろう！」を年数回開催、参加者は可搬型太陽光発電装置を自作し、日常的メンテナンスも可能とする
・地域のイベントに参加や出前授業など環境教室を実施。ソーラーランタンやソーラークッカー、ソーラーバッタの工作を活用
・会員への情報共有と神奈川の活動を地域 HP（https://pvkanagawa.livedoor.blog/）で紹介

No.	2023 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月			
1	フォーラム PV かながわ 2024 を開催	世界的に注目されるペロブスカイト太陽電池とは　～開発者の宮坂教授に伺う～	年 1 回				5/18	年 1 回	◎	・出席者（講師も含む）56 名、アンケートは 15 名より受領 ・オンラインのみで運用 ・講演資料は当日の Q&A といっしょにブログにアップ
2	ニュースレター「PV かながわ」を毎月発行しメールにて配信	タイムリーな話題や毎月の発電量の近隣比較などを会員へ提供し情報の共有を図る	12 回／年	通年				月 1 回発行	◎	毎月執筆者を決めて発行するのは負担だが、継続が大切。読者からの反響も出ている
3	ワークショップ「出前発電所を作ろう！」開催	会員、一般の希望者を募集して開催	年数回	6/4	10/1	12/10	4/21		◎	コロナ禍も一段落したので、従来通り実施した
4	地域のイベントに参加	ソーラーガーデンライトやソーラーバッタなどを活用し、青少年への環境教育を目的に出展		・でんしゃであそぼう！in 大倉山「ソーラーバッタワークショップ」出展（6/17） ・青少年のための科学の祭典 2023（8/13） ・ぼうさいこくたい（防災推進国民大会）2023「出前発電所」出展（9/17、9/18） ・さがみはら環境まつり出展（6/25） ・ほどがやまなぶん祭り（11/27、11/28） ・サイクルメッセンジャー・ワールド・チャンピオンシップ出展（9/24） ・厚木市環境フェア「ソーラーガーデンライトワークショップ」出展（10/22） ・アーバンアートほどがや展示（2/23～3/7） ・さがみはら市民桜まつりかんきょうフェア（4/6～7）				○	コロナ禍も一段落したので、従来通り参加した
5	出前授業など環境教室を実施	ソーラーガーデンライトやソーラークッカーなどを活用し、青少年への環境教育を目的に出前授業を実施		・都筑図書館「夏休み教室」（7/27） ・エコパークさがみはら「ソーラークッカー工作」（7/26 ・相模原市内公民館「地球温暖化〇×クイズとソーラーランタン工作」（8/4～6） ・相模原市内公民館「再生可能エネルギーを暮らしの中に」（9/21） ・谷口台小学校出前講座「ソーラークッカーでおひさまクッキング」（10/5） ・清新中学校出前講座「気候変動に具体的な対策を」（10/27） ・大沼公民館出前講座「SDG s の話と地球温暖化〇×クイズ、ソーラーランタン工作」（2/10）				○	各種の出前授業を実施した
6	その他、地域での活動	取材、行政への提言		・神奈川新聞社の取材が 2 月 21 日付紙面に掲載 ・相模原の自治会館に太陽光発電&蓄電池設置を勧め今年度 1 件設置					○	
7	地域ホームページの運用 https://pvkanagawa.livedoor.blog/	会員間の情報共有と PV-Net 神奈川の活動を紹介	随時	通年				随時更新	◎	フォーラム PV かながわ 2024 情報アップ時にアクセスが増大
8	世話人会の開催	世話人間の情報交換、地域交流会活動の企画、計画の立案、実施	毎月開催	通年				月 1 回オンライン開催	○	オンラインでも出席者が少ないのが悩み

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

山梨地域交流会

2023 年度は、PV-Green の利用普及、省エネ呼びかけ、太陽光発電情報発信などを他団体と協力し、継続して行いました。

No.	2023 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月			
1	ライトダウンやまなしへの協力	・消灯の呼びかけ ・PV-Green の利用普及	年 1 回のライトダウン開催		11/4				○	消灯呼びかけなどを行った
2	PV-Green を活用したサッカーJ2 ヴァンフォーレ甲府のホームゲーム開催をはじめとする PV-Green の普及	一般県民に対し、PV や PV-Green のさらなる普及を図る活動の展開	年 1 回以上		9/9				○	NPO 法人みどりの学校の協力のもと、9/9 ヴァンフォーレ甲府対大分トリニータ戦にて 2,400kWh の PV-Green の活用が実現し、1.1 トンの CO_2 削減につながった
3	Web（芦澤・みどりの学校 SNS）上での太陽光発電メンテナンス（PCS のチェック、交換など）の啓発活動	太陽光発電維持のための正しい知識の啓発活動の展開	年間を通じて						×	今後の課題となったが、次年度力を入れていきたい
4	役員会の開催	活動の展開	―		10/18				△	小規模な打ち合わせのみ
5	・会員の拡大 ・学習会の開催	PV のさらなる普及を他団体とも協力して進める	年間を通じて	通年					△	・PV-Green については啓発できた ・山梨県内では、大規模太陽光発電の影響により太陽光発電設備についての誤解が生まれているので、その解消のために様々な場で発信している

静岡地域交流会

コロナ後、世話人会は不規則開催となってしまっている。静岡地域交流会全体としての活動は展開できなかった。

No.	2023 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月			
1	フォーラム・セミナーの開催（最低年 1 回）	・新たな地域会員の獲得による会の活性化	会員増 10 名					―	▲	なし
2	見学会の実施	関連施設や技術を体感し理解を深め今後の活動の質を向上させる	実施 1 回					―	▲	なし
3	行政・自治体活動 社会活動への参画	・活動内容の紹介と市民の環境意識の向上 ・関連周辺視野の拡大	参画 6 回					―	▲	「ひまわり集会 in 静岡」太陽光+蓄電池による電源供給（参加者 2 名）
4	市民共同発電所 運営管理、建設	・会の活動費の確保 ・管理・設備保守、看板付け替えなど	―						▲	草刈りを委託した
5	保守メンテナンスを通じた会員へのサービス提供	・地域会員の結束強化 ・会員の保守意識の向上 ・保守技術の向上 ・マイクロインバータおよびバッテリーの普及	―					―	▲	コロナの影響による行動制限
6	世話人会の開催	・地域の結束強化、地域活動の活性化 ・世話人 18 名体制と拡充	開催 9 回	Zoom	Zoom	なし	なし	5 回	▲	事前通知および活動内容共有が十分でないことから参加者が限定的となっている

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上） ○：目標を達成（達成率 100%以上） △：目標未達（達成に向け改善可） ▲：目標未達（改善不可） ×：実施されず

中部地域交流会

細々ながら、「1．世話人会の定期開催」「2．MY パワー応援」「3．たじみ環境フェア出展」に取り組みました。

No.	2023 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月			
1	世話人会の開催	情報交換	毎月開催	○	○	○	○		◎	定着した
		会員間交流		○	×	○	×		△	世話人拡大が実現せず
2	MY パワーとの連携	地域電力への売買電	意見交換	○	×	○	○		○	会員への呼びかけには至らず
3	環境フェアへの出展	これまでの地域活動集の作成	原稿づくり	○	○	○	○		○	作成した活動集への反響が少ない

京都地域交流会

人集めに苦慮しており、交流活動が難しい状態が続いている。できる手法で活動する。

No.	2023 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月			
1	関西（滋賀・京都・大阪・奈良）として活動	白浜住宅に太陽光発電の相談 1 件：計画・見積完了。無償で実施	―			12 月		―	○	相談に対しては誠意を持って対応。計画・見積を協力した
2	勉強会開催	「PV を取巻く電力事情（ちょこっと勉強 PV）」を Google ドライブで発信	1 回／年				6 月	1 回	○	昨年作成分をベースに最新版を作成。今年度は資料格納した Google ドライブでの紹介だけ
3	地域新電力「たんたんエナジー」の太陽光発電事業の応援	太陽光発電設置工事の事例をつくり成功事例を積む	―	通年随時				1 件	○	自治体から相談承ける案件を実現させる

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

兵庫地域交流会

自然エネルギーの普及啓発に関する事業を行い、CO_2 オフセットによって地球温暖化防止に寄与することを目的として活動している。2023 年度は、自然エネルギーに関する情報提供を行うために、例年恒例となっているフォーラムや、セミナー、勉強会等のイベントを開催するとともに、神戸市灘区六甲川水車新田における小水力発電設備、ならびに設置エリアを活用した脱炭素に貢献する活動を実施した。各活動においては、脱炭素、資源循環、生物多様性をキーワードとして推進した。

No.	2023 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月			
1	・フォーラム、セミナー開催 ・他団体主催イベントの支援協力	再生可能エネルギーの普及	参加者 80 名以上	セミナー 7/12	他団体支援 8/20 10/12 11/25	フォーラム 12/3 他団体支援 12/17		参加者 セミナー: 53 名 フォーラム: 41 名	◎	自己主催のフォーラム、セミナーに加えて、他団体・教育機関主催のイベントに支援・協力した
2	神戸市灘区水車新田における小水力発電事業	自ら再生可能エネルギーの創エネを実践する	安定稼働 収益事業化	維持管理・トラブル対応				河川流量不足のため、間歇運転が多発、想定発電量を大幅に下回った	△	公的機関視察（6 機関 44 名）、団体による見学（9 団体 82 名）、マスコミ取材（1 団体 1 名）
				視察者・見学者受け入れ						
3	小水力発電設備設置エリアの里山林整備と活用	環境に関する「学びの場」「憩いの場」作り	近隣住民の参加イベント開催	竹あかりつくり 8/11 植物観察会 11/19		餅つき・防災イベント 12/16 シイタケ菌打ち体験会 2/10		小水力発電所敷地内の里山整備活動を月 2 回実施	◎	・山林資源を活用したイベント開催 ・伐採樹木を利用した薪作り、バイオ炭作り、チップ化、榾木として活用
4	太陽光発電の発電に関する情報提供	地域会員の会員満足度アップ	メール、FB での情報提供		勉強会 10/18	通年		勉強会 53 名	○	生物多様性へ及ぼす影響の実態の最新動向や、兵庫県での「地域環境との調和に関する条例」の勉強会開催
5	世話人会の開催	地域活動の活性化	毎月開催	通年				毎月開催	◎	世話人の積極的な参画により活動の企画、推進がスムーズに実施できた

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上） ○：目標を達成（達成率 100%以上） △：目標未達（達成に向け改善可） ▲：目標未達（改善不可） ×：実施されず

3 号議案　2024 年度活動方針（案）

昨年度、PV-Net は 2030 年に向けて PV-Net Vision2030 を制定（2 ページ参照）。2024 年度は本ビジョン達成に向けた２年目であり、①～③の３つのビジョンを柱とした重点活動に取り組んでいきます。また今期は、「2024 年度地球環境基金助成金」の予算を獲得することもできました。Vision2030 と地球環境基金の活動内容は連動しており、基金の予算を上手に使いながら目標を達成できる活動を主軸として活動していきます。

重点活動

① プロシューマが主役となる太陽光発電システムの普及拡大

1. 「ソーラー・蓄電池の導入支援」「再エネ新電力への切り替え」「パネルのリユース・リサイクルの推進」

地球環境基金の活動でも太陽光発電システムの普及拡大をテーマに掲げており、継続活動となっている「食とくらしの『グリーンライフ・ポイント（GLP）』推進事業」と併せて取り組んでいきます。

2. プロシューマ団体としての正確な情報発信

インターネットや SNS 上には誤った情報が氾濫していることから、PV-Net が選定したニューストピックスのメール配信を開始しました。まだまだ至らぬ状況ですが、太陽光発電システムへの正確な情報や、危機的な気候変動の状況について、SNS や勉強会を介して月に 1 回以上は発信していきます。新たに公式 LINE などの活用も検討するほか、団体紹介リーフレットについても、最新の動向や Vision2030 を踏まえた内容の更新を進めていきます。

3. 新たな PV リユース・リサイクルの仕組みづくり

昨年のアンケート調査から、将来のパネル廃棄を心配する会員が多くいることがわかりました。連絡をいただき、古いパネルを撤去・回収する取り組みも一部では始めていますが、「リサイクル・リユースの仕組みづくり」は危急の課題です。地球環境基金および GLP 事業を活用しながら、リユース・リサイクルを行う企業・団体との連携による仕組み化の立ち上げと試行を行います。取り組みの第一歩として、中古パネルがリユース可能かどうかを判定できる「リユースチェッカー」を導入し、使い方の講習会を開催することで各地域でも検査ができるような体制をつくっていきます。

4. PV 健康診断システムのリニューアル

昨年 12 月にリニューアルを予定していましたが、最終的な仕様決定に時間を要したことで完成が遅れ、皆さまには大変ご迷惑をおかけしています。近々ご案内ができるよう、現在、最終確認を行っております。

② 地域循環共生型コミュニティの構築・強化

5. 地域活動の活性化

地域会員・世話人をベースとした地域活動を進めるにあたり、地域特性に合わせたセミナーや勉強会、地域新電力への切り替え案内などを展開します。

6. 再エネ利用の拡大に向けた取り組み

SDGsが一般にも浸透してきたことで、各企業でも再エネの導入やCO_2の削減活動が活発になっています。PV-Net では設立当初よりグリーン電力証書による環境価値の取引事業を展開していますが、ここ数年、改めて問い合わせが増えてきました。この機会を逃すことなく、企業等の再エネ拡大支援に寄与していきたいと考えます。

また家庭の CO_2 排出の約 5 割が電気の使用に伴うことを鑑み、再エネメニューを扱う電力会社への切り替えを推進すべく、地域新電力会社との紹介・仲介事業を GLP 事業として行います。新電力の 1 つ、みんな電力では、遠隔地にある太陽光発電所の 1 区画から生まれた電気を自宅で使用できるサービスを始めており、第 1 弾の発電所として静岡地域交流会が協力しています。マンション居住者や費用の問題などで太陽光発電の設置を見送っていた人でも太陽光発電の電力を利用できる仕組みであり、さらなる展開に向けて進めていきます。

7. 気候危機回避と、安全安心な地域社会構築をめざす

気候変動対策・脱炭素化を推し進める全国の自治体や企業、各種団体と連携を推進します。今後も発生が予測される深刻な気象・地震災害に対する対応策として、再エネ・蓄電・EV 活用などをテーマに、地域や住民に向けた勉強会などを通じて浸透させます。また地域と共存する健全な再エネの普及のためにも、発電所に関するトラブル相談や調査・点検にも対応していきます。

③ カーボンニュートラルに向けた社会の変革

8. 既設の野立て PV システムの実態調査

FIT 導入から 10 年以上が経過し、保守・メンテナンスされていない荒れ果てた太陽光発電システムが各地で散見されるようになってきました。こうした状況への対処として、会員の皆さまの地域にある放置が疑われる太陽光発電所についての情報を集めていきます。皆さまからお寄せいただいた場所や状態、標識などの情報・写真をもとに、現状の分析や課題を明確にしていきます。

9. ルールチェンジ、システムチェンジに向けた働きかけ

今年 5 月、経済産業省資源エネルギー庁は第 7 次エネルギー基本計画策定に向けた検討に着手しました。国際情勢の緊迫でエネルギー安全保障の重要性が増すなか、有識者からは早速、原発への回帰を求める意見が上がっています。現状は市民がこうした議論の場に参加できることはなく、パブリックコメント募集や意見箱が設置されるのみ。それでもこのような機会を活かすべく、数多くの団体が参加する「ワタシのミライ」などとも連携し、 PV-Net としての提言を提出していきます。また自治体から国へと呼びかけを求める陳情についても、引き続き実施していきます。

10. EV 向け充電ステーション拡大支援

EV 充電サービスを展開しているユビ電（株）ではここ数年、充電設備の拡大に注力してきましたが、輸送エネルギーのクリーンエネルギー化についても目指しています。これまでの同社との連携実績をベースに、太陽光発電100%による EV 充電ステーションの実現に向けた提案・模索をしていきます。

地域交流会活動計画

コロナ前の生活を取り戻したかのように感じられる一方で、物価や電気代については以前とは状況が一変しました。CO_2 も電気代も削減できる太陽光発電への関心はこれまで以上に高まっており、私たちが培ってきた経験やノウハウが、今こそ求められています。

東北 6 県地域交流会

東北 6 県地域交流会は、「既存の会員の状況を把握しての交流」「新規会員の入会が増えるような取り組み」を目指し、各県の会員の方と連絡を取っていきたいです。ぜひつながりましょう。

メール：s-sakio@mtg.biglobe.ne.jp　SMS：09062228634　Facebook：https://www.facebook.com/s.sakio

No.	2024 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				（参考）活動方針・重点活動との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	・各県の会員を知る ・各県地域交流会の設立・世話人の選出	各県の会員の動向をできる限り把握して、世話人の選出や、活動の方向付けなど、その先は地域の事情に合わせて調整し、地域間で相互依存する関係を目指す	東北 6 県について各県で主体的に参加できる人数が把握できること	岩手 山形	宮城 福島	秋田 青森	フォロー	5.地域活動の活性化
2	・事業化の推進 ・拠点の活用	・「コミュニティパワーいわて」会合で活動内容を決めて実施する ・岩手県一関市千厩町「千厩ホンダ」からの貸家を拠点にショールームにする	事業所の設立	準備	事業化	事業展開	まとめ	5.地域活動の活性化
3	交流会に賛同する仲間をつくる	自然エネルギーに取り組む関係者とのつながりづくり	1 組以上の関係者との連携	通年				5.地域活動の活性化
4	活動全体を通じて新規会員の獲得声がけ	活動を通じて地域のキーマンや次世代リーダーの発見と連携づくり	1 人以上の新入会員確保	通年				5.地域活動の活性化

群馬地域交流会

新型コロナウイルス感染症により途切れてしまった世話人会の絆を取り戻すべく、「世話人会の再開」の 1 点に絞り活動していきます。

No.	2024 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				（参考）活動方針・重点活動との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	世話人会の開催	・地域の結束強化 ・地域活動の活性化	1 回／年	通年				5.地域活動の活性化

埼玉地域交流会

2023 年度に引き、県内各種団体とコラボした環境イベントに参加し、省エネと環境問題対応行動が必要であることを大人や子どもたちに気付いてもらう活動を実施する。また会員には引き続き、卒 FIT 後の相談と、自主点検の実施の提案および情報発信を行っていく。

No.	2024 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				（参考）活動方針・重点活動との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	埼玉地域フォーラム	悪化が進む気候変動問題や再生可能エネルギーの会員の情報交換共有	年 1 回開催			年度後半を予定		2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす
2	見学会	太陽光発電などを含めた再エネ施設や活用施設の見学を通しての情報共有	年 1 回以上			年度後半を予定		2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化
3	独立型 PV 組立講座ワークショップ	PV の普及	1 回以上	年数ヵ所を予定				5.地域活動の活性化
4	自治体などのイベント参加	県・市町村・環境団体主催のイベント参加による PV-Net 活動の周知、会員拡大	5 イベントに参加	通年				2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす
5	児童・園児・父母対象の環境学習開催および PV 講演会、相談会の開催	・自然エネルギーの普及啓発 ・将来への投資 ・PV 普及を目的にした講演会開催	県内数ヵ所	随時				2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす
6	・市民発電所維持管理 ・スイッチング推進 ・発電量の計測および健康診断による発電量チェック ・新規発電所の設置	・PV 設備のメンテナンス ・パワーシフトの推進 ・PV の普及・啓発	新設 1 カ所	随時				1.再エネ新電力への切り替え 2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 4.PV 健康診断システムのリニューアル 5.地域活動の活性化 6.再エネ利用の拡大に向けた取り組み
7	世話人会の開催	地域交流会の運営（対面と Zoom で開催）	定例開催（第 1 土曜）	通年				5.地域活動の活性化
8	NEWS（さいたま通信）刊行継続とホームページの運用	・発電量の近隣比較の広報と PV 健康診断への入力促進 ・卒 FIT 体験、PV 撤去にまつわる話、トラブル事例など会員に役立つ情報発信 ・バルコニーPV などの PV の最新技術情報の発信 ・イベントなどを地域会員に知らせ、参加につなげる	2ヵ月毎	通年				2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 4.PV 健康診断システムのリニューアル 5.地域活動の活性化
9	PV の不具合対応＆相談対応	・太陽光発電の健全な普及 ・発電量の確保 ・PV-Net の存在価値向上	対応率 100%	通年				3.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす

千葉地域交流会

講師派遣は機会があれば積極的に要請を受け、地域収入に充てていく。リアル世話人会は機会を見て開催を検討する。また会員相談＆情報交換会（オンライン）は継続して開催していく。セミナーはパネルのリサイクルの話が候補で、12 月開催で計画する。

No.	2024 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				（参考）活動方針・重点活動との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	情報交換会開催	・情報交換／共有 ・会員からの相談対応	12 回／年開催	通年				2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化
2	自然エネルギーを広めるネットワークちば定例会	・定例会へ参加 ・情報交換／共有 ・他団体との連携	12 回参加 勉強会講師参加	通年				5.地域活動の活性化
3	イベント出展	・エコメッセちばオンライン出展（動画配信）	1 回出展／年		10 月			2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす
4	セミナー・勉強会	・再エネ／省エネ全般／事例報告	1 回開催／1 回開催			12 月		2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 3.新たな PV リユース・リサイクルの仕組みづくり

東京地域交流会

2025 年まであと 1 年。単独での広報・活動のほか、協力団体確保、連携の場づくり、世話人会体制強化が課題。

No.	2024 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				（参考）活動方針・重点活動との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	温暖化啓発 ・自治体・生協・地域団体等に協力依頼 ・FB 以外のオンライン告知研究 ・参加しやすい間口企画（連携含）	① 関心低～中層向けの間口企画 ② 関心高い層の活動参加	武蔵野・三鷹 ① 各 100 ② 各 500 東村山等でも	① 学習会（月 1）への集客 Facebook 広告以外のネット広告、チラシ配布など ② GLP 事業の中で啓発企画への誘導				1.食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」の推進 2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす
2	ソーラー普及 ・住宅ソーラー普及…GLP 事業 ・事業所 PPA	① 住宅ソーラー等 ② 地域事業者向け	① 10 件 ② 1 件	① リアル学習会開催 ② アプローチ方法の検討から…飛び込み？ポスティング？				1.食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」の推進
3	再エネ電気普及	① 再エネ新電力に切替 ② 非 FIT 売電も	① 100 件 ② 50 件	都内会員、学習会参加者、各地再エネ市民団体など 温暖化啓発、ソーラー普及の企画とセットで				1.食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」の推進 6.再エネ利用の拡大に向けた取り組み
4	地域連携の促進 再エネ～SDGs 関連市民団体の連携プラットフォームづくり	日常の広報相互協力～年 1 回共同請願など	武蔵野・三鷹でプラットフォーム 他区市も検討	キーパーソンとの意見交換、問題意識共有から、 緩やかな枠づくり				5.地域活動の活性化
5	政策提言	① エネ基改定への意見集約 ② 温暖化対策条例	武蔵野・三鷹で陳情提出	① 「ワタシのミライ」の取り組みに合わせて ② 地域連携プラットフォームで				9.ルールチェンジ、システムチェンジに向けた働きかけ
6	その他	① イベント出展 ② 講演会 ③ 廃パネルリサイクル ④ 世話人新人	武蔵野・三鷹を中心に	① 小平環境フェスティバル、11 月みたかエコマルシェ ② 講演会＝未定 ③ 業務スキームできてから ④ イベント手伝いを会員に呼びかけるところから。				2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 3.新たな PV リユース・リサイクルの仕組みづくり 5.地域活動の活性化

神奈川地域交流会

以下の活動を実施します

・ フォーラム PV かながわ 2025 開催を検討　　・ 年数回ワークショップ「出前発電所を作ろう！」の開催
・ ニュースレター「PV かながわ」を毎月継続発行し、会員への情報提供を行う
・ 地域のイベントへの参加や出前授業の実施　　・ 地域ホームページの運用（https://pvkanagawa.livedoor.blog/）

No.	2024 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				（参考）活動方針・重点活動との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	フォーラム PV かながわ 2025 開催を検討	2050 年カーボンニュートラルへ向け何ができるか？（仮）	年 1 回				未定	2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化
2	ニュースレター「PV かながわ」を毎月発行し、メール配信、Web に公開	タイムリーな話題や毎月の発電量の近隣比較情報など、会員への情報提供を行う	年 12 回	通年				2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 4.PV 健康診断のシステムのリニューアル 5.地域活動の活性化
3	ワークショップ「出前発電所を作ろう！」の開催	部品の確保が課題。会員、一般の希望者を募集して開催	年数回	未定	未定	未定	未定	5.地域活動の活性化 6.再エネ利用の拡大に向けた取り組み
4	地域のイベントに参加	ソーラーバッタやソーラーランタン、手回し発電機などを活用し、青少年への環境教育を目的に出展	随時	通年				2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化
5	出前教室を実施	ソーラーガーデンライトやソーラークッカーなどを活用して出前講座など環境教室を実施	随時	通年				2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化
6	地域ホームページの運用（https://pvkanagawa.livedoor.blog/）	PV-Net 神奈川の活動紹介と会員への情報発信、コメントを活用した双方向通信の検討	随時	通年				2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化
7	世話人会の開催	世話人間の情報交換、地域交流会活動の企画立案および実施	毎月開催	通年				5.地域活動の活性化

山梨地域交流会

2024 年度は FIT 後の太陽光発電のメンテナンス・維持の情報を発信していきたいと思います。

No.	2024 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				（参考）活動方針・重点活動との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	ライトダウンやまなしへの協力	・消灯の呼びかけ ・PV-Green の利用普及	年 1 回のライトダウン開催		11 月頃			5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす
2	PV-Green を活用したサッカーJ 2 ヴァンフォーレ甲府のホームゲーム開催をはじめとする PV-Green の普及活動	一般県民に対し、PV や PV-Green のさらなる普及を図る活動の展開。NPO 法人みどりの学校の協力のもと、ヴァンフォーレ甲府対 V・ファーレン長崎戦にて 2,400kWh の PV-Green を活用する	年 1 回以上	7/14				5.地域活動の活性化 6.再エネ利用の拡大に向けた取り組み
3	Web（芦澤・みどりの学校 SNS）上での太陽光発電メンテナンス（パワコンのチェック、交換など）の啓発活動	太陽光発電維持のための正しい知識の啓発活動の展開	年間を通じて	通年				2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化
4	役員会の開催	活動の展開。対面開催を年に 1 回以上は行う。	―					5.地域活動の活性化
5	・会員の拡大 ・学習会の開催	ゼロカーボン、温暖化対策などに取り組む地域の他団体・行政等と連携して、太陽光発電の更なる普及を目指す	年間を通じて	通年				5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす

静岡地域交流会

①セミナー・見学会等による会員交流を行いたい ②若手世話役の希望する活動方針を積極的に取り入れ、転換の年としたい ③ここ数年、対面での会議を行っていないので Zoom 以外の活動を行う ④PV-Net が掲げるビジョンを実現すべく、具体的な活動を模索していく ⑤懇親会の開催

No.	2024 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				（参考）活動方針・重点活動との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	フォーラム・セミナーの開催（最低年 1 回）	・新たな地域会員の獲得による会の活性化 ・掛川市におけるグリーンファイナンスの取り組み	会員増 5 名	未定	未定	未定	未定	2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす
2	見学会の実施	関連施設や技術を体感し理解を深め今後の活動の質を向上させる	実施 1 回	未定	未定	未定	未定	5.地域活動の活性化
3	行政・自治体活動社会活動への参画	・活動内容の紹介と市民の環境意識の向上 ・関連周辺視野の拡大	参画 6 回		3 件	2 件		7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす
4	市民共同発電所運営管理、建設	・会の活動費の確保 ・管理・設備保守、看板付け替えなど	―	通年				5.地域活動の活性化 6.再エネ利用の拡大に向けた取り組み
5	保守メンテナンスを通じた会員へのサービス提供	・地域会員の結束強化 ・会員の保守意識の向上 ・保守技術の向上 ・マイクロインバータの普及	―	通年				5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす
6	世話人会の開催	・地域の結束強化、地域活動の活性化 ・世話人 18 名体制と拡充	Zoom 会議 毎月第 2 水曜 開催予定	通年				5.地域活動の活性化

中部地域交流会

太陽光発電機を設置して最初に出会うのは「発電電力計」。太陽との交信を実感する瞬間です。だから毎月の発電記録は、太陽との交信、会話記録なのです。そして毎年開催・出展している「たじみ環境フェア」は、太陽との会話記録の発表会。そんな場にできればと思っています。会員の皆さんの協力を呼びかけます

太陽光発電の設置理由は人それぞれですが、我が家の電気を作る私有財産と思ってしまうと、太陽すらも利用物になってしまいます。吉田太郎著『200 万都市が有機野菜で自給できるわけ』には、「日光は誰のためにも降り注ぎます。（中略）貧しき人、金持ちのためにも光り輝くほど気前がよいのです」と記されています。PV-Net の活動は「私有財」と考えるよりも、どう共有財として活用できるのかを考え続けてきたのだと考えます。そしてそれを具現化しているのが中部では地域新電力会社の「MY パワー（三河の山里コミュニティパワー）」です。山村地域の特性を活かした「太陽光発電」「小水力発電」「木質バイオマス発電」で、地域内の経済循環づくり、地域雇用創出、益金の地域還元など、食料とエネルギーと地域ケアの自給自足圏づくりに驀進中です。本年度も微力ながら MY パワーの共有財づくりを応援していきます。

No.	2024 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				（参考）活動方針・重点活動との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	世話人会の開催	情報交換	毎月開催	3 回	3 回	3 回	3 回	5.地域活動の活性化
		会員間交流		3 回	3 回	3 回	3 回	
2	MY パワー運動との連携強化を図る	エネルギーの地産地消活動への参加呼びかけ	毎月検討					5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす
3	環境フェアへの出展	これまでの地域活動集の作成	原稿づくり			2/16		2.プロシューマ団体としての正確な情報発信

京都地域交流会

丹波・丹後地域の新電力「たんたんエナジー」との連携を模索します。

No.	2024 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				（参考）活動方針・重点活動との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	PV を取り巻く電力事情の勉強（ちょこっと勉強 PV）2024	10 編程度に分けて、YouTube 配信を試みる	―	通年随時				2.プロシューマ団体としての正確な情報発信
2	「たんたんエナジー」太陽光発電事業応援	太陽光発電設置工事を 1 件 1 件、成功体験を積む	―	通年随時				5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす

兵庫地域交流会

【地球温暖化防止啓発活動】

①県民向けフォーラム、セミナーを開催　②六甲川水車新田小水力発電設備を活用した視察者・見学者受け入れ

【里山整備と資源活用】

①里山林として持続可能な仕組み作り　②環境学習や憩いの場として活用　③脱炭素・CO_2 削減活動（バイオ炭・チップ化による CO_2 地中貯留）

【六甲川水車新田小水力発電事業の推進】

①安定した発電ができるように保守メンテナンス体制の確立　②事業の黒字化

No.	2024 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				（参考）活動方針・重点活動との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	フォーラム、セミナー開催他団体主催のイベントでの支援・協力	再生可能エネルギーの普及	参加者 80 名以上	セミナー 7 月		フォーラム 12 月		2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化 7.気候危機回避と安全安心な地域社会構築をめざす
2	神戸市灘区水車新田における小水力発電事業	自ら再生可能エネルギーの創エネを実践する	安定稼働 収益事業化	維持管理／視察者・見学者受け入れ				5.地域活動の活性化
3	小水力発電設備設置エリアの里山林整備と資源活用	・環境に関する「学びの場」「憩いの場」作り ・若手会員増	近隣住民の参加イベント開催	通年				5.地域活動の活性化
4	太陽光発電の発電に関する情報提供	地域会員の会員満足度アップ	メール、FB での情報提供	勉強会 10 月	通年			2.プロシューマ団体としての正確な情報発信 5.地域活動の活性化
5	世話人会の開催	地域活動の活性化	毎月開催	通年				5.地域活動の活性化

特定非営利活動法人
太陽光発電所ネットワーク

〒113-0034　東京都文京区湯島 1-9-10　湯島ビル 602
TEL：03-5805-3577　　FAX：03-5805-3588
www.greenenergy.jp